

化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス
住 所 東京都中央区築地 6-19-20
担当部署 品質保証部
電話番号 03 - 3248 - 2208
FAX 番号 03 - 3248 - 2243
緊急連絡先 同上
作 成 2012年4月2日

MSDS No. 415201、415211

製品名 略

製品コード	製品名	成分	単一製品、混合物の区別
415201, 415211	抗原賦活化液 pH9	0.1%アジ化ナトリウム	蛋白質と塩類の混合物

適用法令：なし

成分の一覧及びその他の適用法令

番号		その他の適用法令
1.	0.1%アジ化ナトリウム	非該当 毒物劇物取締法：毒物（0.1%以下のため適用除外） 労安法：政令第18条の2別表第9の9（1%未満のため適用除外） 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：別表第一 11（1%未満のため適用除外）

火災時の措置 消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火剤 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

漏洩時の措置

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
容器は直射日光を避け、415201 抗原賦活化液 pH9（調製済）は、2-8℃で保存し、輸送する。415211 抗原賦活化液 pH9（10倍濃縮）は、常温（15-25℃）で保存し、輸送する。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

1. 0.1%アジ化ナトリウム

物質の特性

化学名	アジ化ナトリウム		
成分及び含有量	0.1%含有		
化学式／分子量	NaN ₃ =65.01	化審法公示番号	1-482
CAS No.	26628-22-8	PRTR 法	1-11 (1%未満適用外)
国連分類	-----	国連番号	-----

危険・有害性の分類

分類の名称	急性毒性物質
危険性	通常状態では危険性はないが、可燃性物質と混合すると発火する可能性がある。
有害性	眼、鼻、のど、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、血圧低下、知覚障害などを生じる。重症の場合、意識不明、痙攣などを引き起こす可能性がある。
環境影響	-----

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none">・ 高温物、スパークを避け、保管する。・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。
保管	<ul style="list-style-type: none">・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。・ 容器は直射日光を避けて保管する。

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none">・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を

保護具 設けその位置を明瞭に表示する。
通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	液体。	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----
溶解性	水に可溶。		

危険性情報

安定性，反応性 直射日光に不安定。金属との接触により爆発性物質を生成する可能性がある。

有害性情報

急性毒性：経口投与	ラット	LD 50	27mg/kg (NaN ₃)
経皮投与	ウサギ	LD 50	20mg/kg (NaN ₃)
慢性毒性	-----	変異原性	-----
がん原性	-----	刺激性	-----
環境影響情報	-----		

廃棄上の注意

アジ化ナトリウムは水道管の銅、鉛などと反応して爆発する危険性があるので、本製品を排水管より処分するときは、大量の水と一緒に流す。または、廃棄物業者へ委託して処理する。
